静岡新聞

令和２年(2020年)１０月３１日（土曜日）

# 三島駅前再開発で市議会臨時会

# 住民投票条例案を否決

三島市議会臨時会は30日、広域健康医療拠点やマンションを建設する三島駅南口東街区の再開発を巡り、事業の「延期・見直し」か「現計画の推進」を問う住民投票条例案を賛成少数（賛成5、反対16）で否決した。市民団体が４８５７人分の署名を集めて請求した一連の活動は、住民投票の実施に至らず手続きが終了した。

討論で条例制定に反対する議員は、再開発事業はこれまでも市民の意見を取り入れてきたとした上で「（条例案の）選択肢は明確性を欠き、住民投票の客観的な意義は見いだせない」と訴えた。一方、賛成議員は「事業の根本に関わる部分で市民合意が得られていない」とし、都市計画決定により「新たなステージに入り、骨格が変えられなくなる」と主張。工事による地下水への影響、コロナ禍における財政負担についても「市民の不安が大きい」と述べた。

市民団体が制定請求した住民投票条例案は、投票用紙に「コロナなどの感染症を踏まえて」と前置きした上で「都市計画決定を一年延期し、市民の意見を取り入れて見直す」か「現計画のまま進める」の2択で市民の考えを問う内容。豊岡武士市長は「見直す」という視点が曖昧なほか、「進める」との選択肢も計画の改善、修正が難しくなる―とし「市民の意向を的確に把握できない」と反対意見を付議していた。（三島支局・金野真仁）